

シェア・カンボジア 地域保健専門家の仕事



シェアカンボジアの活動概要

シェアの活動するカンボジア王国プレイベン州は子どもの健康指標が悪く、栄養不良の子どもの割合が高い州の一つです。経済状況が厳しく、インフラも十分に整っていない農村地域で子どもの健康を守るには、子どものケアについて住民自身の保健知識・行動が改善されること、また住民に最も近い医療機関である保健センターのスタッフが栄養不良の子どもを早期に発見し、適切に対応できる仕組みができることが必須です。シェアは①予防、②診断、③治療の3本柱の活動で地域の人々と協力した子どもの健康増進を目指し活動しています。

地域保健専門家の具体的な仕事って??

シェアのカンボジア人スタッフがカウンターパートと活動を実施するための、準備～実施～評価のミニサイクルに基づいて技術的サポートを行うことが地域保健専門家の役割です。具体的には以下の業務に携わっています。

- ①クラス型研修やOJTサポートによるプロジェクト対象者(郡保健局、保健センター、保健ボランティア)の能力強化
- ②子どものケアや乳幼児の栄養に関する教材の開発
- ③活動の記録まとめ、定期的な振り返りを通したモニタリング
- ④事業の進捗管理
- ⑤重症例への対応
- ⑥シェアカンボジア人スタッフの能力強化



地域保健専門家：虎頭のある一週間



月	活動地プレイベンへ移動 1週間の予定を確認し、プノンペンから活動地のプレイベンへ移動。水曜日に行われる保健ボランティア会議に向けて、議題や方法、シェアの役割について確認します。
火	乳幼児健診へ参加 村での健診は暑い時間を避けて、早朝から行われます。時に出発前に前に事務所を出発することも。保健センターと保健ボランティアが協力して健診活動が行えるようサポートします。また、健診中に稀に見つかる重症例についてもシェアの医療スタッフと一緒にサポートします。
水	保健ボランティア会議へ参加 会議の主役は、保健センタースタッフと保健ボランティアです。シェアの担当スタッフは、なるべく会議が円滑に進行するようサポートを行います。
木	健診活動のデータをまとめます 健診のOJTサポートではスタッフがチェックリストを用いて評価し、データを入力しています。シェアでは、定期的に担当者の観察とデータを合わせて活動の進捗や方向性を見直します。フィールドに出ることが多い為、事務所でデスクワークができる時間は貴重です！
金	郡保健局行政官と研修に関する打ち合わせ、プノンペンへ戻ります 翌月に行われる乳幼児の適切な栄養に関する研修について、郡保健局行政官とシェアの担当スタッフで話し合いを行います。国のガイドラインに沿って、より担当者に適した研修を行うために、何度も話し合いを重ねて準備を行います。業務後は、プノンペンへ戻って1週間の業務終了です。

